

# 「大起水産 成長の軌跡」

大起水産株式会社 代表取締役会長 佐伯保信



魚の業界に入ったいきさつ

私は30歳の時に独立して大起水産をスタートし、初めは堺市の三国ヶ丘駅の近くで創業しました。私は中国で生まれ四

国の愛媛県で育ちましたが、なぜ堺へ行っただかという点、愛媛県の叔父が堺のお客様にミカンとカキを出荷していた関係で、堺で就職できたのです。

## 世界中の人においしい日本の「食」を

当時、私の家は裕福ではなかったので高等学校へ行けなかったのです。

介で魚の業界に入りました。

当初、私達はカニを扱っていましたがカニは養殖できない為、量が減るとどうしても高くなり

す。当初、私達はカニを扱っていましたがカニは養殖できない為、量が減るとどうしても高くなり

それで堺商業高等学校の夜学へ通わせてもらう約束で堺へ来ました。そして果物屋に就職したので

ようと思つて大阪へ出てきたわけではないので

す。当初、私達はカニを扱っていましたがカニは養殖できない為、量が減るとどうしても高くなり

す。当初、私達はカニを扱っていましたがカニは養殖できない為、量が減るとどうしても高くなり

ですが、当時は台湾から輸入されたバナナが神戸港に着いて、神戸から荷物

を運ぶ港灣業者のトラックが夕方に来ており、ち

す。当初、私達はカニを扱っていましたがカニは養殖できない為、量が減るとどうしても高くなり

す。当初、私達はカニを扱っていましたがカニは養殖できない為、量が減るとどうしても高くなり

ようと学校へ行く時間帯

た。大阪で勉強して、素晴らしい商品をお客様に喜んで買って頂きたいという強い気持ちがありました。これが私の原点です。

おいしいものを時代に合わせ、魚には、大衆魚と高級魚があります。大衆魚は魚がいます。大衆魚は魚がいます。大衆魚は魚がいます。

す。当初、私達はカニを扱っていましたがカニは養殖できない為、量が減るとどうしても高くなり

た。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。

す。